

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模大野3丁目マンション計画	階数	地上15F
建設地	相模原市南区相模原大野三丁目325番4外	構造	RC造
用途地域	商業地域:防火地域	平均居住人員	232人
気候区分	地域区分	年間使用時間	3,650時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2013年7月29日
敷地面積	1,214 m ²	作成者	東鉄工業株式会社
建築面積	406 m ²	確認日	2013年7月29日
延床面積	4,707 m ²	確認者	東鉄工業株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.3 ★★★★★☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
参照値: 100%
建築物の取組み: 71%
上記+: 71%
上記+: 71%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.6

Q1 室内環境 Q1のスコア = 4.1 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0
------------------------------------	--------------------------------------	---

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.6 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4
---------------------------------------	--	---------------------------------------

3 設計上の配慮事項		
総合 歩道空地や広場などオープンスペースを設けたり、道路周囲には可能な限り緑地を設けて周辺環境の考慮しました。	その他 特に無し	
Q1 室内環境 4スター建材と24時間換気によるシックハウス対策	Q2 サービス性能 各住戸は100Mbitクラスのプロードバンドの利用、パリアプリー新法にも対応。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地とその周辺にある立地特性を把握し、その特性にもとづいて計画している。
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準「5-1省エネ対策等級」における等級4に相当し、潜熱回収型給湯器を使用。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器の採用や躯体と仕上げ材が容易に分別できる。	LR3 敷地外環境 大気汚染防止法、小規模燃焼機器のNOx排出ガイドラインにより大幅に抑えられている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される